

総務課長 一井 健二 様

医療介護部長 山岡 薫彦

会 議 要 録

名 称	令和2年度西予市立病院改革推進委員会	
事 務 局	医療介護部医療対策室	
	電 話 0894-62-6424	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和3年3月17日(水) 19:00 ~ 20:30	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階大ホール	
出席者	委 員	西予市医師会長 織田英昭 西予市民病院：院長 末光浩也・副院長 菊地良夫、仲村聡夫・ 事務長 大塚進二・看護部長 兵頭厚美 野村病院：院長 守田人司・副院長 大塚伸之・ 事務長 松末 博・看護部長 土居和美 愛媛大学地域医療学講座教授 川本龍一 医療介護部長 山岡薫彦 委員 12名
	顧問	八幡浜保健所長 竹内 豊
	欠席者	厚生常任委員長 二宮一朗
	事務局	西予市民病院：事務長補佐 竹内寿夫・係長 兵頭真、稲葉和司 野村病院：事務長補佐 富永一彦 係長 西岡秀記、西森 潤 医療対策室：室長 亀岡敦志・指導員 河野千恵香
	その他	西予市民病院：MSW 志賀岳人、病院改革推進員 竹森順一 野村病院：MSW 吉見達雄、病院改革推進員 中岡哲春

<p>議事内容(要旨)</p>	<p>開会あいさつ 医療介護部長 委嘱状交付 自己紹介</p> <p>1 委員長選出（前任者退任後の残任期間） （委員長）西予市医師会長 織田英昭氏</p> <p>委員長挨拶</p> <p>協議事項</p> <p>2 市立病院改革プランの点検・評価に関すること 医療機能指標、経営指標は令和元年度の決算に基づいた数値で目標値に達していないものもあるが一定の評価はできる。 看護師不足により目標達成できない項目があるため人材確保は重要課題である。 今年度までは、決算報告の関係で前年度分の点検評価を行ってきたが、次年度からは評価年度を現年度とするよう見直しをする。指標や評価判定についても同様に見直しを行う。 （質疑応答） 無し</p> <p>3 病院改革進捗状況及び今後の進め方 （1）病院改革推進の取り組み ①両市立病院の電子カルテの更新、西予市地域医療情報連携ネットワークシステム（せい坊ネット）の年度末までに導入予定 ②R 2.12 月から病院改革プラン推進及び両市立病院の経営改革のための専門家による経営改革支援をスタート。現在前向きな経営改善に関するアドバイスを受けており、今後も現状分析や影響調査により、両病院再編や二次救急集約の実行支援を受けることとしている。 ③ 医療従事者の確保については、一昨年から、年4回の採用試験を実施しているところである。医師については、採用試験の対象外で大学や愛媛県への個別の派遣要請や招聘活動を行ない、来年度、4月から新たに愛媛大学医学部消化器腫瘍外科からの新規医師派遣が実現する。薬剤師・看護師については、養成機関や中</p>
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学・高校に出向き、奨学金制度の説明や進路の選択肢として医療職の魅力等の説明を行うなど人材確保に努め、一定の入職者は得ているが、必要人数には達していない。

定年を迎える職員に対しても、再任用に向けて働きかけるなど、医療従事者の減に取り組み成果を上げている。

- ④ 職場環境の改善においては、両病院において勤務環境改善の委員会を設置して、施設独自の取り組みも進めている。
- ⑤ 人材確保、不均衡是正の観点で、近隣の公立病院と比較し、市立病院における医療従事者の手当等の条例・規則改正をR3年3月議会で行ったところである。広報関係（市広報、ホームページ、公式FBほか）で今まで以上に病院内の紹介に力を入れて、イメージアップを図ることも重要である。医療従事者の確保については、これらのことを総合的に進めて行かなければならない。

（2）東部地域における地域包括ケアシステム強化モデル事業

プラン推進と合わせ市内における地域包括ケアシステムの強化学業をモデル的に西予市東部（野城）地域で行い、検証を経て全市展開が出来るよう検討している。

（野城）地域は市内でも地域包括ケアシステムの取り組みが進んでいる地域で医療機関や福祉施設関係法人も少ないことから、市内における地域包括ケアシステム強化のモデルとしても取り組みやすい土壌があるため、障害や精神的な要支援者も含めた西予市版の強化モデルとして取り組み、検証・改善して全市展開を図り、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう進めたいという管家市長の強い思いによるものである。

また関連で、野村病院のダウンサイジングに併せて、市内で需要が見込まれる病院併設型の介護医療院も設置を予定（次期介護保険計画掲載済）しているところである。

（3）事業等の見える化

施設内の職員全員に進行状況や必要事項を常時見える化し（院内WEB・掲示板など：事務局・院内幹部・改革推進係が連携確認して随時掲示）、全員が協力して進めて行くことと必要に応じて令和3年度中に市民への説明会を実施し、適正な救急利用や在宅療養中の患者の不調・急変時の適正・

効果的な受診体制を確立することが重要である。

(質疑応答)

Q：看護師募集をしているが発信する募集内容はいつも同じ。両病院で何が出来るかなどPRが不足しているのではないか。魅力ある仕組みを公表して行かないと人は集まらない。

A：まちづくり推進課と協力して都市から移住する人への紹介も発信はしているが認定看護師等両病院の情報も発信していく。

Q：看護師の奨学金制度はあるが医師の奨学金制度が西予市にはない。

A：検討する話は出ている。

Q：二次救急集約は両病院の考え方に乖離があるのではないか

A：具体的な目標も出てきており専門家の支援を受けながら両病院が納得できるよう進めて行く。

4 せい坊ネット

二次救急体制集約等を見据え両病院や市内診療所で患者の同意のもと医療情報を共有する。機器の搬入も進んでおりサーバー設置も終了。

今年度末稼働に向けて体制を整備している。運用方法についても帳票類の調整を行っている。

(質疑応答)

なし

5 その他

(顧問) コロナワクチン接種について、免疫の続く期間やワクチンの有効性、変異株への効果など聞かれるが明確な回答はできない。医療職への接種は始まっているが、現時点でワクチン数は不足している。

(事務局) 参加者全員に本日の説明を基に評価をお願いする。当評価は西予市地域医療対策検討委員会に報告し、市長への提言書の中に盛り込む。

閉会あいさつ (副委員長)

病院改革は、専門家の支援も受けながら両病院で今後も協議を重ね、行政としてもしっかり直近の課題や将来に向けて進めていきたいので協力をお願いする。

備	考
---	---

概要

年度 2017年度～
カテゴリ 行政一般
審議会名 西予市立病院改革推進委員会
公開開始日
審議会の概要

西予市立病院改革推進委員会は、医療介護総合確保推進法による愛媛県地域医療構想を基に策定した西予市立病院新改革プランを推進、点検・評価するために設置しています。

委員会の開催（年3回程度）は委員長が招集し、各作業部会が計画の推進に向けて活動します。

なお、委員は、医師会長・厚生常任委員長・両病院長・副院長・看護部長・事務局長等で組織し、市長が委嘱または任命しております。